



WASTE AS A RESOURCE

廃棄物は資源

最後のひとかけらまで資源として活用する循環型社会へ。

**廃棄物は資源
～循環型社会の実現に向けて～**

株式会社富山環境整備

WASTE AS A RESOURCE – 廃棄物は資源 –



経験と信頼の実績を重ね、廃棄物が資源となる
真の循環と社会課題の解決に挑み続けます。

富山環境整備 エリアマップ

私たちは創業以来、
お客様そして社会の要請に応える形で
様々な廃棄物の処理を行ってきました。
現在では、製品やエネルギーなどへ転換する
リサイクルやそれを活かした農業へと展開を
広げています。

私たちは廃棄物を「資源」と捉え、
新たな価値を社会に提供し社会課題の解決を図るとともに、
持続可能な社会の実現を目指しています。





一極集中型処理システムと資源循環の流れ

SERVICES

富山環境整備の取り組み

収集運搬

中間処理（破碎・選別、焼却）

最終処分

低濃度PCB廃棄物の無害化処理

汚染土壌廃棄物の無害化処理

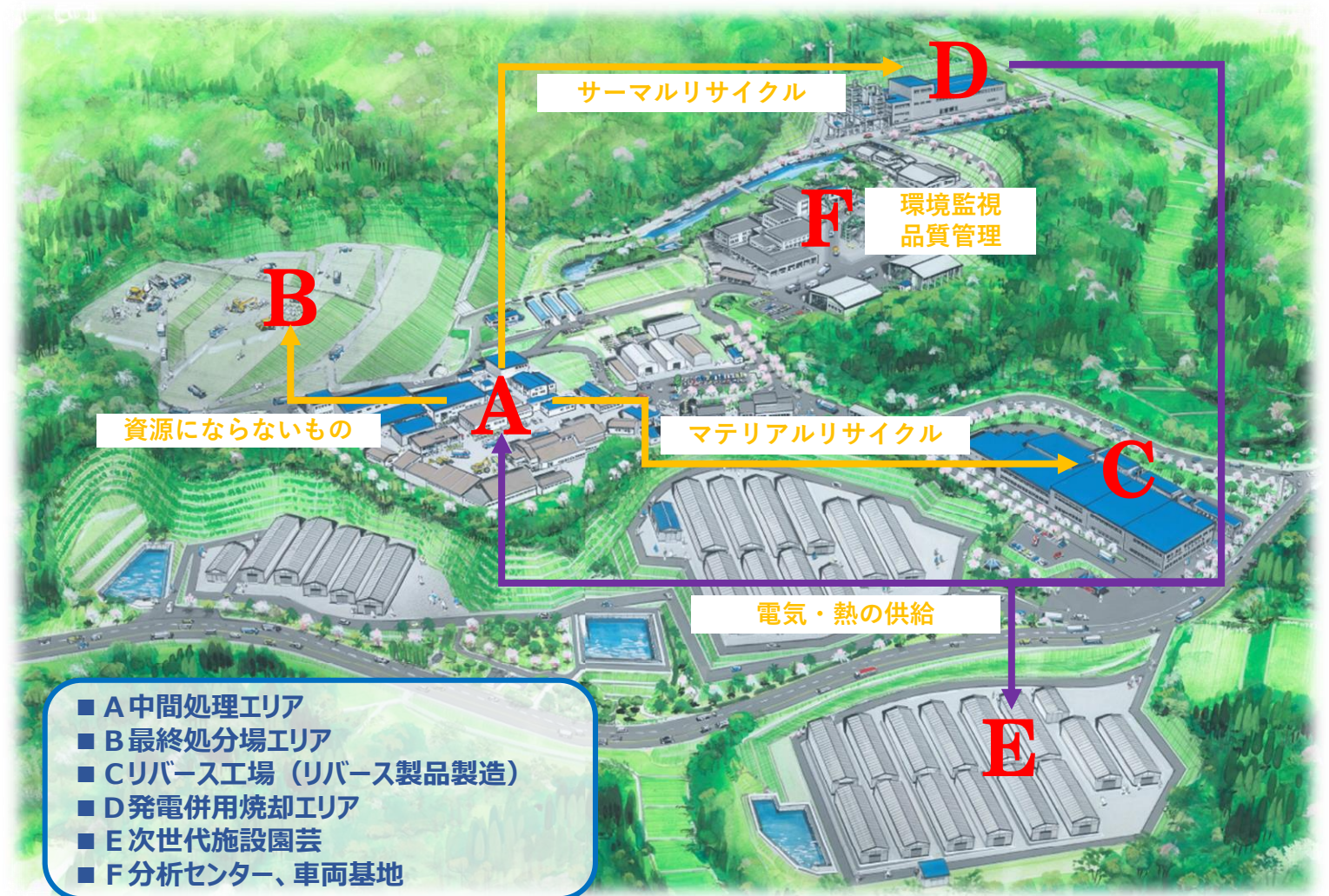
リサイクルプロダクト

アグリプロダクト

計量証明事業

研究開発

富山環境整備 エリアマップ

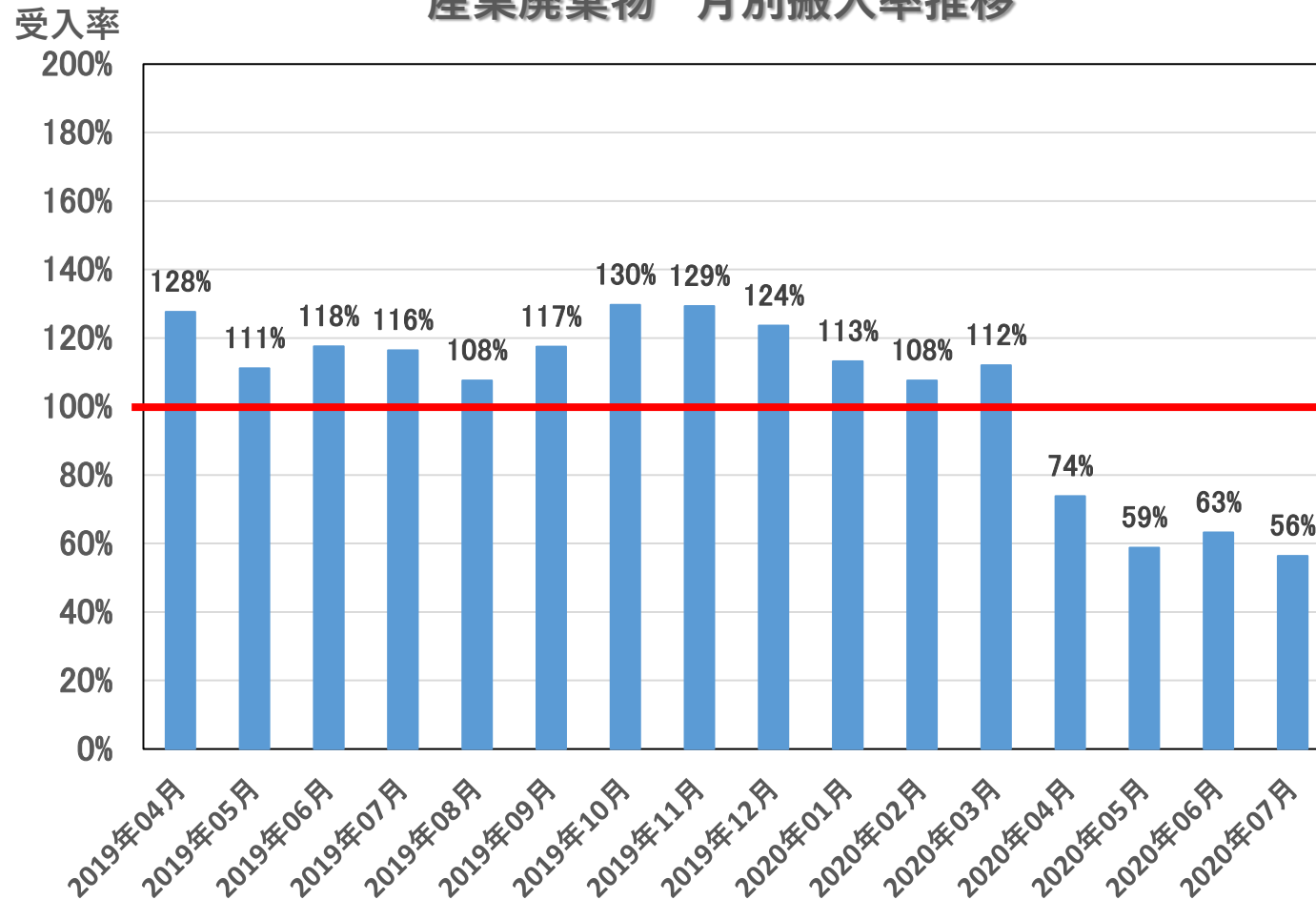




廃棄物の動き①

富山環境整備の産業廃棄物搬入量の推移

産業廃棄物 月別搬入率推移

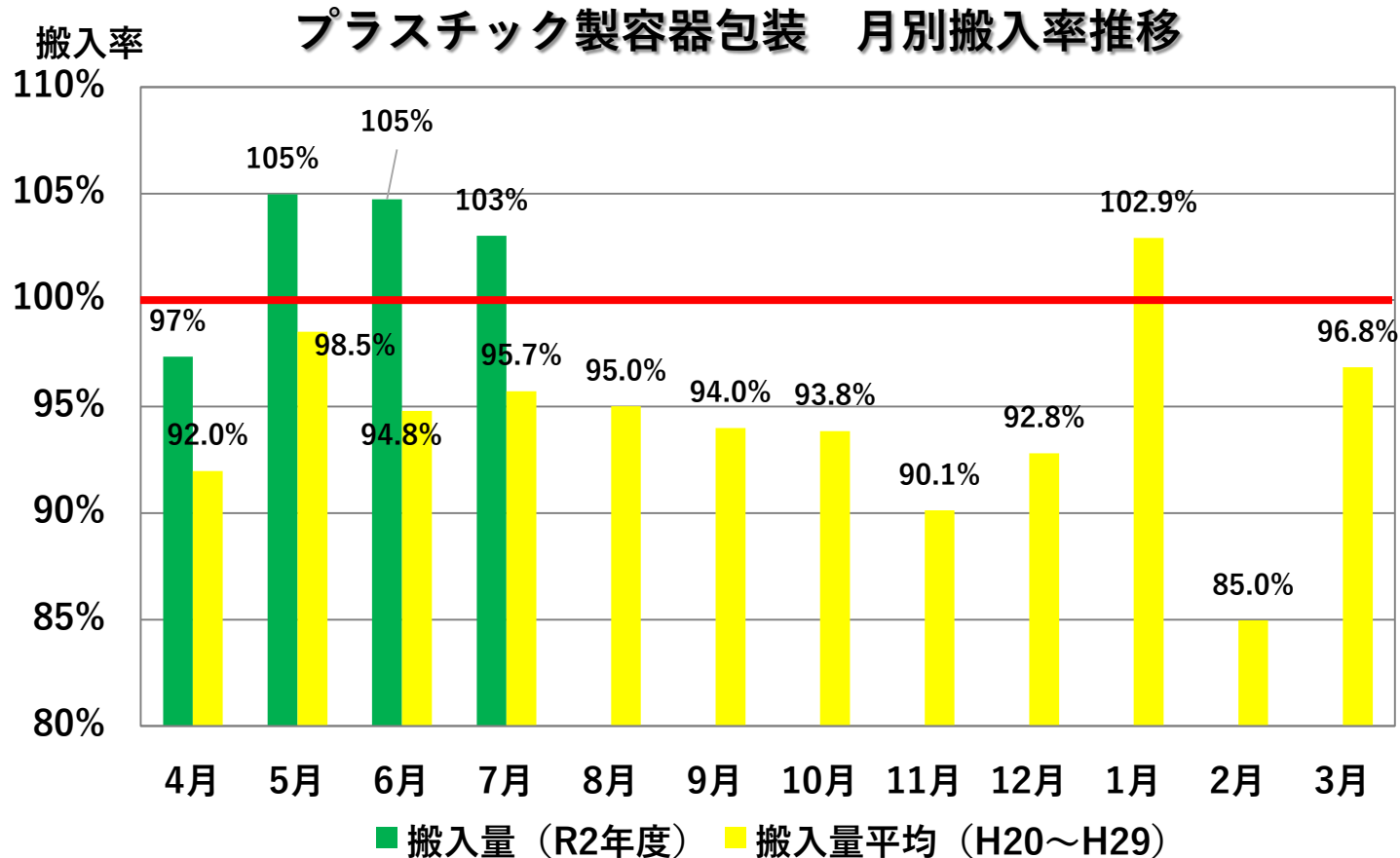


新型コロナウイルス感染症が流行する前の2019年と流行中の2020年4月～7月の当社への産業廃棄物の搬入状況を比較。
新型コロナウイルス感染症により産業活動が停止したことから、産業廃棄物の量が昨年比で4割減となっている。



廃棄物の動き②

富山環境整備の容器包装プラスチック廃棄物搬入量の推移

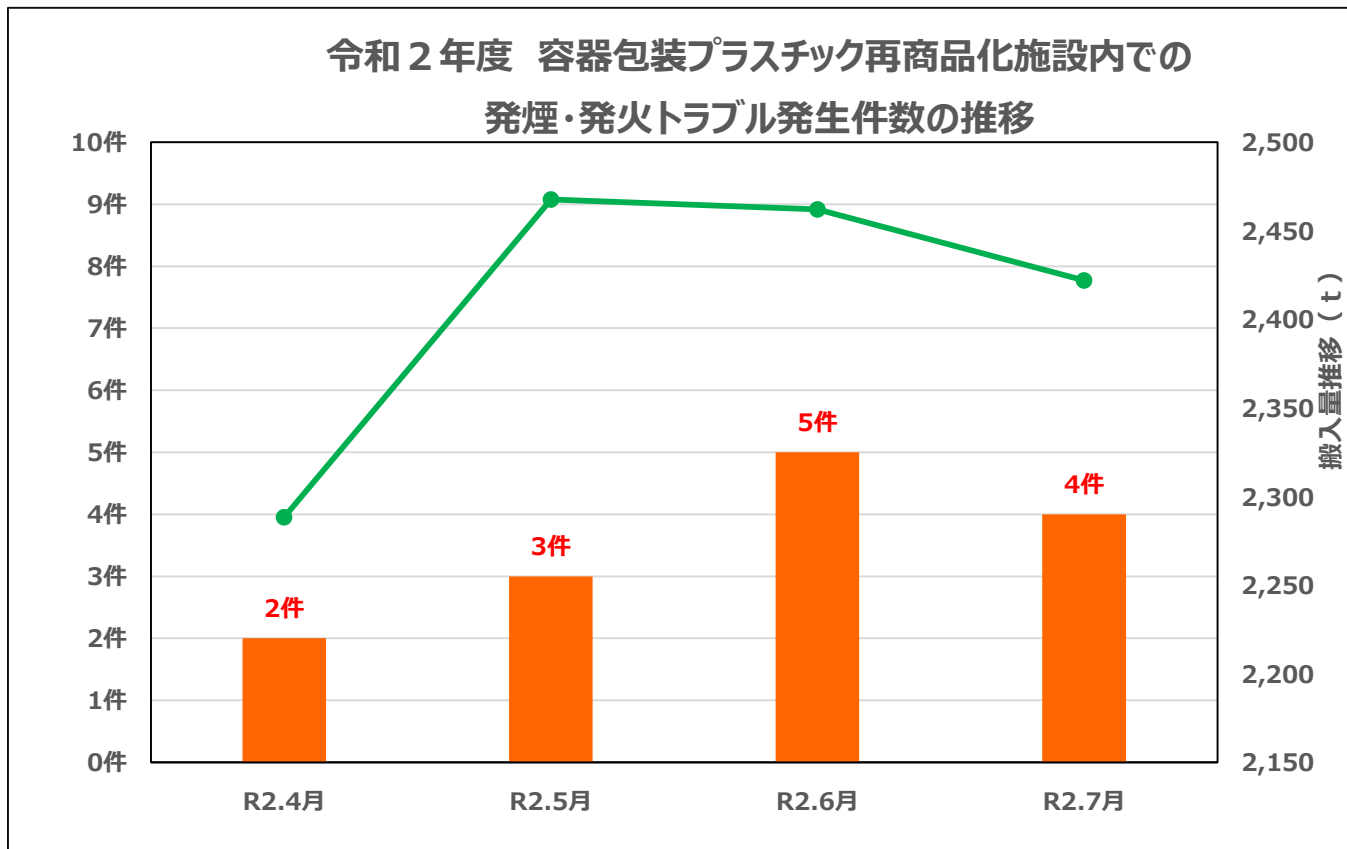


Stay Home等の外出自粛対策により、家庭で過ごす時間が増えたことで一般家庭等から出る廃棄物の量は、例年より5%~10%増加となっている。
プラスチック製容器包装廃棄物においては、県内外共に増加している。
今後も高止まりで推移すると見込んでいる。



廃棄物の動き③

廃棄物量増加に伴う発火トラブルの増加



<発煙・発火トラブルの原因物 内訳>

発煙・発火原因物	件数 (TKS)	
	令和2年度 (8月25日まで)	
リチウムイオン電池 ※使用電子機器は不明		2
加熱式タバコ		13
モバイルバッテリー		1
合計		16



コロナ禍でのStay Homeにより、令和2年4月後半のGWから一般家庭からの廃棄物搬入量が増加傾向となった。それに伴い、充電式電子タバコやモバイルバッテリー等に起因する発煙・発火トラブルの発生件数が増加。

廃棄物の動き④

廃棄物中の発火物の混入トラブル

●小型充電式電池の例



●リチウムイオン電池の発火が原因で、リサイクル工場の建屋・設備が焼けてしまった事例

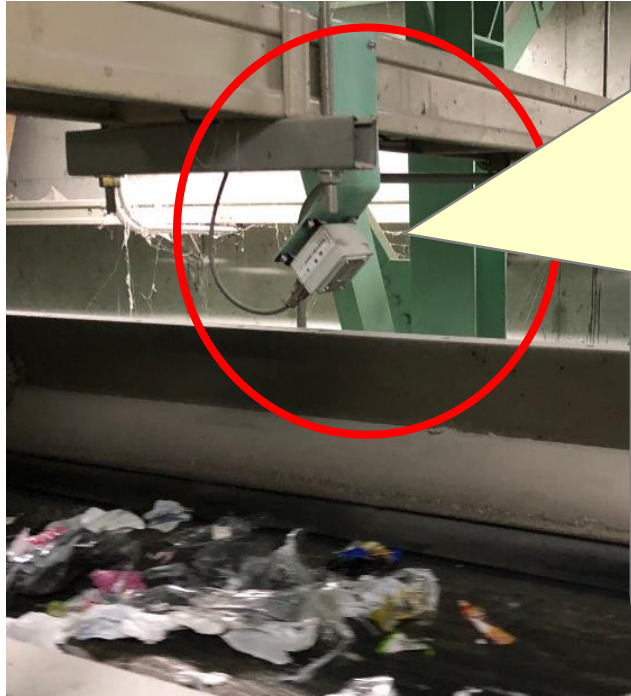


廃棄物中に充電式電子タバコやモバイルバッテリー等が混入すると、選別中に発煙・発火するトラブルが発生。このような発火物の混入により、ごみ収集車や選別施設が全焼する事故が多発している。

廃棄物の動き⑤



発火トラブルへの対応策



炎検知装置の設置

発火のより発生する炎を確実に検知。
検知後は、警告音とともに、自動的に設備の稼働を停止する制御を併用することで、発火後の延焼を抑制する。



簡易消火器の設置

スプレー式の簡易消火器を初期消火に使用。炎検知装置との併用により、早期発見ができるようになったため。

発火物混入によるトラブルの増加に伴い、当社施設においても対策を実施。選別において、発火物を全摘することは難しいと判断し、早期発見、迅速対応に重点を置いた対応を実施。炎検知装置および制御による早期発見とエアゾール式簡易消火器による迅速な消火活動を行っています。